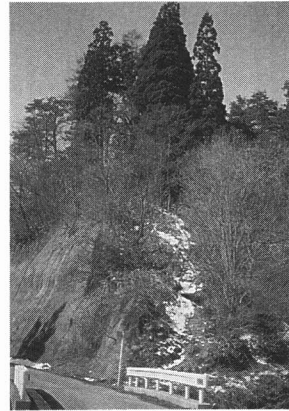


て、ベコ清水を通り峠の茶屋を経て銀山へ向かっていた。

佐賀瀬川集落は、昔土佐屋敷より現在地に移住したとの伝承があるが、その年代は詳でない。

会津の資料(旧事雑考)には、(原文)伝に曰く海師(弘法大師)大沼郡逆瀬川邑に黒岩山興隆寺ヲ建テ白山権現ヲ崇ス於テ大日不動兩像ヲ安ス于院側ニ護ス今黒岩ト云フ

塔頭亦タ十二字在リ旧邑大日山ノ下ニ在リ元和丁己(ヒノトミ)(元和三・一六一七年)今ノ地ニ移スト云フ(三百八十年前)



銀山街道入口

下向山(現 佐賀瀬川)

大正十四年の耕地整理で換地となった字名現在には無い。

上臺(現 佐賀瀬川)

佐賀瀬川扇頭北台地

葭館(現 佐賀瀬川)

佐賀瀬川扇頭南台地

昔の柵跡。柵が設けられていたので、この名が付けられたと云われている。

家ノ下(現 権現堂)

集落北畑地・先史時代の遺跡地。

縄文前期の土器・石器等数多く出土し、信仰に用うる土偶・石器あり。

●遺跡 権現堂遺跡 縄文・弥生時代 昭和五十七年試掘

上狐坂(現 佐賀瀬川)

中江下(現 佐賀瀬川)

下衣崎(現 佐賀瀬川)

(伝承) 弘法大師の殺生禁断祈願の地

中江(現 佐賀瀬川)

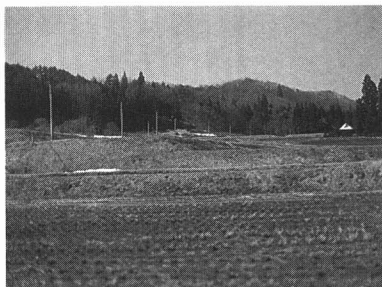
昭和二十八年中部土地改良工事で換地となった字名、現在ではない。

集落西、先史時代の遺跡地、古代の住居跡と縄文中期(五千〜六千年)前の土器が出土。

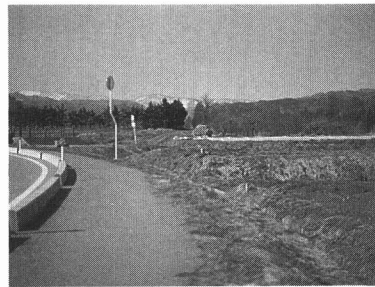
聖宮(現 黄葛葵)

集落西(寺院隆地)先史時代の遺跡地、縄文中期の土器出土

●遺跡 中江聖の宮遺跡・縄文・奈良・平安時代 昭和五十七年試掘



聖宮



衣崎北長尾